



発行：青葉保護司会
青葉区更生保護女性会
事務局：青葉区社会福祉協議会内
〒225-0024
青葉区市ヶ尾町1169-22
TEL 045-972-8836
FAX 045-972-7519
印刷所：(有)青史堂印刷

つながりから協働の拡大へ



WE ♥ AOBA 20th AOBA

日ごろから区政の推進に、多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、青葉保護司会及び青葉区更生保護女性会の皆様には、犯罪や非行を行った人の立ち直りと社会復帰への支援や、犯罪のない明るい社会づくりを目指し、熱心に活動されており、心より敬意と感謝を申し上げます。

皆様には、毎年「社会を明るくする運動」や「薬物乱用防止キャンペーン」や「愛のバザー」などを実施いただいている。区民一人ひとりにお声かけし、普及啓発してくださる姿が、とて

青葉区長 德江 雅彦

も印象に残っております。

さて、青葉区は平成6年11月6日に誕生し、今年で20周年を迎えます。区民の皆様とお祝いする様々なイベントや取り組みを開催しています。この20年の間に多くの団体が育ち、手を取り合い、さらに新たな活動が活発に広がっています。平成26年度は「つながり」から「協働」の拡大として、20周年を契機に、今後も「住み続けたいまち 青葉」となるよう、区民の皆様と一緒に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

更生保護：立ち直りを支えるしくみ

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。



住居が必要

仕事が必要

地域との絆が必要



更生保護女性会のキーワード

更生保護女性会の活動は、4つのキーワードにあらわすことができます。

住んでいる地域を単位に、日本中で行われている活動です。
市民・他団体と連携して、心豊かな社会を育てます。

女性の持つあたたかさ、細やかさを生かした活動です。

女性

地域性
(コミュニティー)

ボランティア

更生保護

心ならずも過ちを犯した人の立ち直りを支援し、犯罪の予防に努めます。

だれでも心の中にある善意をもって、自分なりの創意と工夫で活動します。

日帰り研修

栃木女子刑務所

平成25年6月24日（月）青葉区更生保護女性会の年間行事の一つである研修会が行われました。全国で9か所しかない女子刑務所で最大の施設、若い人から88歳の人まで778人が収容されています。刑務所では職員が法律に基づき適正な刑の執行を行うだけでなく、教育学、心理学、社会学、精神医学、その他受刑者の改善更生、社会復帰を図っています。ここに収容される人は東京矯正管区内で刑が確定した女子受刑者、又外国人女子受刑者で罪名は窃盗、覚せい剤の犯罪者が多いそうです。収容者の作業としては、洋裁、美容、フォークリフトなど、免許の取得まで細かな指導をしています。収容定数を超えて収容されている為、一人部屋に二人収容されている状態ですが、

内部の部屋には鍵がありません。図書室もあり、充実しています。美容の指導では、免許が取得出来、刑務所内部の美容室で働き、外部の方も安い料金で利用出来ます。

この人たちが刑を終えて地元に戻った時に、私たちは皆で温かく迎えられるような社会にしなければと考えています。

飯塚 秀子



第6回 横浜市更生保護
大会に参加して

平成25年7月5日（金）横浜市文化会館内ホールにて横浜市更生保護大会が開催されました。更生保護女性連盟会長の開会のことばで第一部の式典に入り、法務大臣からのメッセージを林市長がお受けになりました。その後市長とご来賓の皆様からご祝辞があり、活動のエネルギーをい

ただき大きな励みになりました。

市長感謝顕彰のあと保護司会長、更生保護女性会長からの表彰等があり、200名の方が受彰されました。受彰なされた皆様おめでとうございます。大変地道な支援活動ですが、ぬくもりのある明るい社会をめざして活動していきたいと思います。

内藤江つ子

更生保護女性会
Bブロック研修会

平成25年10月30日（水）保土ヶ谷区福祉保健活動拠点において、「更生保護女性会の役割と展望について」の講演会がありました。講師は横浜保護観察統括保護観察官 佐々木俊樹

氏です。

更生保護女性会の始まりは、戦後多発した犯罪や、非行を憂い、矯正施設に入所したり保護観察となった人たちを、放っておけないと想いから、その更生を支援することから始まりました。

更生保護女性会は、地域社会の犯罪、非行の未然防止のための啓発活動を行うと共に青少年の健全な育成を助ける会です。

私たちは「社会を明るくする運動」として、駅頭キャンペーンや区民まつりにバザーを行うなどをして、地域の皆さんに呼びかけています。

これからも地域の人々に寄り添い、更生保護の趣旨に協力、支援をして参ります。

郡司 伸子

愛のバザー について

平成25年11月3日（日・祝）に「青葉区民まつり」が開催されました。当日は朝から好天に恵まれ、多くの方が来場され大賑わいでした。会場である青葉区役所総合庁舎の駐車場には50店以上の団体が、「ふれあい模擬店」に出展していますが、私達更生保護女性会も広く活動を知って頂くために参加しています。恒例の手作りのお汁粉は毎年好評で、小さいお子さんから年配の方々に喜んで頂いています。「美味しかったです」の一言に疲れも吹っ飛んでいきます。人とのふれあいやコミュニティの大切さが見直されている中、区民祭りの

ように色々な方とふれあえる場に参加することができ大変有意義な一日となりました。これからも更生保護女性会として地域をつなげる活動をしていきたいと思います。

原 裕子



青葉区民祭りで薬物乱用防止啓発活動の展開

平成25年11月3日（日・祝）に開催された青葉区民祭りで、神奈川県薬物乱用防止指導員協議会青葉支部は、啓発活動を行いました。薬物乱用防止指導員は、区内の保護司や薬剤師などが神奈川県から委嘱を受けて、学校や地域などで乱用防止のためのいろいろな啓発活動を行っています。

区民祭り当日は天候に恵まれ、開会早々から大勢の人たちが会場に集まってきました。啓発活動は、麻薬や違法ドラッグなどの危険性を知らせるパンフレットを風船やカットパンを添えて配布するという方法で行いました。指導員の方々が来場者にこれらの品を渡そうとすると、最初は怪訝な顔つきをしていました。しかし、この活動目的を知ると快く受け取ってくださいり、薬物乱用の危険性について改めて認識をさせていたようでした。当日は来場者が多く、風船を膨らませるのが間

に合わないほどで、配布予定をしていた啓発用品が足りなくなるのではないかと心配するほどの活況でした。

薬物乱用は、ふとした気持の緩みなどから始まります。これからも地道な活動を続け、この問題の撲滅に市民の皆様と連携して努力してまいります。

岩崎 力



久里浜少年院の運動会に参加して

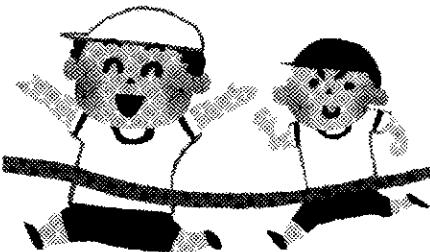
平成25年10月12日（土）久里浜少年院の運動会が院のグランドで行われました。

保護者や多くの来賓が参加し「一致団結」のテーマのもと、80m走、綱引き、リレー、ボディスラップ、保護者参加のレースがありました。

ボディスラップとは、身体を叩いて音を奏でるもので多くの人数で行う方が力強い迫力のある音

を出します。又保護者をおんぶしてゴールするゲームで少年との触れ合いを楽しんでもらうものも肉親のぬくもりが伝わったことだと思います。本日晴天のもと、身体を精一杯動かして青春の喜びを味わったことでしょう。

上志田花子



久里浜少年院成人式に出席して

平成26年1月18日（土）久里浜少年院成人式が行われました。

今年は43名が成人式を迎えました。5人の代表者の意見発表があり、院内生活で自分と向き合い勉強したこと、将来のことなどを話し、途中で言葉に詰まる人もいて胸に来るものを感じました。

今回初めて合唱があり、院生から成人者に送る歌、続いて成人者から院生への歌、最後にサプライズで教職員全員による合唱、会場全員が手拍子

に沸きとても心に残る成人式だったと思います。

堤 たか子



いう更生保護の考えを人々に広く伝えていく事が大切だと思いました。「おかえり」と迎え入れる温かいまなざしの社会にしていきたい、と考えさせられる大会でした。

岩崎 力

第64回 神奈川県更生保護大会に参加して

平成25年12月12日（木）相模女子大学グリーンホールにて開催されました。約2300人が出席する盛大な催しで、県内6校の高校生77人による合唱等から始まりました。曲によっては踊りながら歌い、会場からも「おおうっ」と声が上がる程盛り上りました。その後、式典に移り更生保護に尽力された774名の表彰・感謝状の授与式がありました。受賞の皆さん、心からおめでとうございます！

私たちは、社会を明るくする為に更生保護に携わっています。犯罪の無い、安全・安心な街づくりの為には、犯罪者を受け入れ再犯させない、と



第63回 青葉区 「社会を明るくする運動」実施報告

保護司、更生保護女性会、民生委員児童委員、自治会・町内会、PTA等が中心となって、町内会館、学校体育館等を利用し、計13回実施しました。非行防止、子育て、防犯、地域での声かけなど様々なテーマで懇談会や討論会を開催しました。

月 日	会 場	人 数
6月21日(金) 16:15~18:00	あざみ野中学校 図書室	69名
7月 1日(月) 14:45~16:00	みたけ台中学校 体育館	148名
7月 1日(月) 13:30~14:30	みたけ台中学校 金木工室	47名
7月 4日(木) 10:00~13:00	しらとり台自治会館	58名
7月 5日(金) 15:00~17:00	山内中学校 コミュニティホール	62名
7月 5日(金) 14:30~16:30	もえぎ野中学校 武道道場	83名
7月 9日(火) 15:00~16:15	青葉台中学校 3階教室	98名
7月 9日(火) 15:00~16:15	青葉台中学校 4階教室	111名
7月11日(木) 19:00~20:45	青葉台 コミュニティハウス	42名
7月23日(火) 14:00~16:00	美しが丘西小学校	44名
8月23日(金) 12:00~14:30	藤が丘地区センター	68名
9月30日(月) 14:50~15:20	桂小学校 体育館	87名
11月17日(日) 13:00~15:00	玉川学園台自治会館	32名
合 計		949名

平成25年度

受賞おめでとうございます

青葉保護司会

法務大臣表彰	石 渡 義毅
全国保護司連盟理事長表彰 内助功労者	徳 江 彰子
関東地方更生保護委員会委員長表彰	常 世 和子
関東地方保護司連盟会長表彰	蒲 谷 政彦
	吉 村 実千代

横浜保護観察所長感謝状

民間篤志家	青葉区連合自治会長会
横浜保護観察所長表彰	菅 野 義矩

神奈川県保護司会連合会会長表彰

上志田	倉 本 澄男
吉 村 実千代	上志田

横浜市長感謝顕彰

横浜市會議長感謝顕彰	吉 村 実千代
横浜市保護司会協議会会長表彰	蒲 谷 政彦

横浜市立奈良中学校	高 橋 薫
横浜市立鶴志田第一小学校	横浜市立鶴志田第一小学校
横浜市立鉄小学校	横浜市立鉄小学校
横浜市立桂小学校	横浜市立桂小学校
菅 野 義矩	菅 野 義矩

青葉区更生保護女性会

法務大臣感謝状	横 溝 清子
横浜保護観察所長感謝状	井 組 禮子
神奈川県更生保護女性連盟会長表彰	武 内 恵子
横浜市長感謝顕彰	堤 たか子
横浜市會議長感謝顕彰	飯 塚 秀子
横浜市更生保護女性連盟会長表彰	石 川 直子
	吉 田 真佐子

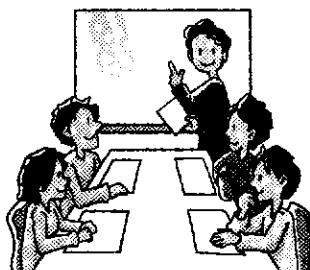
青葉区更生保護女性会 勉 強 会



平成26年1月22日（水）横浜保護観察所統括保護観察官・佐々木俊樹氏を講師として「更生保護女性会」についての勉強会を行いました。私たちの会は地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け合う団体です。地域の人たちと話し合える

「ミニ集会」や「子育て支援」などに取り組んでいます。犯罪を犯した人たちが社会の中で自立出来るよう努力していきたいと思います。

海山 幸子



神奈川県 平成25年 更生保護女性連盟会員研修

平成25年12月3日（火）横浜市開港記念会館で会員研修が行われました。県内の会員が一堂に会して研修協議を行い地区活動と会員の資質の向上を図ることを目的とし、400名が参加しました。始めに「愛の寄贈」の贈呈式があり、まこと寮をはじめ更生保護施設に助成金が送られました。

講演は、元横浜保護観察所長・寶金邦子氏を招き「これから更生保護活動を支え合い～共に輝き その先へ～」を

神奈川県更生保護女性連盟
平成25年度 会員研修会



テーマに行われました。又研究協議として各地区の活動発表が行われました。

岡村 悅子

駅頭キャンペーンについて

平成 25 年 7 月 25 日（木）青葉区社会を明るくする運動、「駅頭キャンペーン」が実施されました。午後 3 時市が尾駅に青葉区長をはじめ青葉保護司会、更生保護女性会、女性防犯指導員、地域の学校関係の方など多数の方々の参加により、市が尾駅においてキャンペーンを実施し、その後青葉台駅とあざみ野駅に分かれて駅周辺で夏休みに入った学生さん、乗降客や買物客、足早に立ち去つて行く方々に犯罪や非行の防止、地域の方々と立ち

神奈川県安全・安心まちづくり 横浜第2ブロック研修協議会

平成26年2月13日(木)
瀬谷区役所 大会議室

保土ヶ谷区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、栄区、泉区、瀬谷区、旭区、戸塚区

来賓の挨拶

横浜保護観察所長 中川 利幸 様
瀬谷区長 薬師寺えり子 様
横浜市保護司会協議会長 酒井果胤 様

直りを支える理解とご協力を呼びかけました。リーフレット、ボールペン、ティッシュペーパーなどを配りました。学生さんから「暑いのにおばさんありがとうございます。頑張って」と声をかけて頂き、心の中に花が咲いた想いでした。 小野 一江



講 演

- 「更生保護の現状と課題」

中川 利幸 様

- 「児童虐待の現状について」

中里 智 様

瀬谷区社明運動中央集会に向けての作文コンテスト

ハーモニカ伴奏により、全員で「故郷」を合唱

高橋 薫

長野刑務所視察研修

平成 25 年 8 月 27 日（火）～28 日（水）に、青葉保護司会と更生保護女性会合同による研修が行われました。長野刑務所の実情視察と情報交換を目的とし、参加者は保護司 14 名、女性会 7 名、事務局 1 名の計 24 名でした。明治 4 年に刑務所の元となる徒刑場が設置され、大正 11 年に長野刑務所と改称、昭和 35 年に現在地（須坂市：長野県北部の千曲川東岸に位置する市）に移転されました。犯罪傾向の進んでいない成人男性の日本人受刑者を中心に、現在 903 名が収容されているとのことです。

総務部長よりそれらの概要説明があり、その後、炊事室、運動施設（体育館、グランド）、工場（衣類・枕等の縫製、革製品、他）、収容棟（独居房、雑居房）、作業場（草刈）等を視察し、最後に質疑応答で 2 時間半の研修でした。

終了後、隣接の販売所で受刑者が工場で製作した商品を各自が購入しました。

長野刑務所では服役者の日常活動や処遇の概要がわかり、また参加者間の情報交換を行うことが出来て、有意義な研修会でした。 土志田 嘉



昭和 24 年長野市裾花川の台風豪雨による氾濫時、堤防決壊の拡大を防ぐため、長野刑務所の受刑者 843 名が動員され、一人の逃走者もなく、10 日間復旧作業を行い、賞賛を受けた。刑務所の庭にあるその顕彰碑。

広報委員	青葉保護司会	青葉区更生保護女性会
	徳江傳三	飯塚秀子
	吉村実千代	石原正子
	曾山美穂	海山幸子
		森原泰裕